



原子力空母GW、その後...

元旦の夜11時25分頃、原子力空母GW乗組員の上等水兵が、若松町の市道で、前を歩いていたキャバレークラブ従業員男性の左ほおを追い抜きざまに1回殴り、現行犯逮捕されました。バリー容疑者は、友人宅で酒を飲んだ後でした。

1/7に蒲谷市長とケリー司令官との定例の「情報交換会」があり、「(容疑者は)船の中に拘束し謹慎中。厳しい処分が下される。暴力は絶対に許さない。」と報告があったそうです。市担当者は、「市長は抗議していない」「怪我はなかった」と繰り返しています。

1/9、東京でも「初雪」を観測した厳しい寒さの中、県内の原水協、平和委員会、阻止連、阻止県闘争本部そして共産党は「米海軍横須賀基地」と市役所に抗議行動を行いました。

年越し派遣村が、大きなニュースに!

「日比谷で年末年始を生き抜く。」をキャッチコピーに、大晦日から1月5日まで日比谷公園に開設された「年越し派遣村」には、失業者がおよそ500人訪れ、参加ボランティアは1680人、寄せられたカンパは2315万円となりました。NPO法人自立生活サポートセンターもやい、全国コミュニティ・ユニオン連合会などが中心となって組織された実行委員会には、全労連も参加しました。全労連からの支援要請は、暮れも押し詰まってからになりましたが、それは妨害を恐れた実行委員会からの指示に基づくものでした。

1月2日には、厚生労働省が講堂を宿泊所として提供し、5日以降も4箇所臨時シェルターが設置されました。また、東京都とともに簡易宿泊施設として4箇所を12日まで提供し、毎日500人分の宿泊所と食事を提供しました。

一方、総務大臣政務官坂本哲志は「本当にまじめに働こうとして

いる人たちが集まっているのかという気もした」「学生紛争の時の戦術、戦略が垣間見えるような気がした」と述べて「派遣村」を批判しましたが、翌日に発言を撤回し、謝罪しました。

経済大国である筈の日本で、このような避難所が民間の手で設置されたのは、大きな驚きであるとともに、国民の反撃開始の確かな証でもあります。

(写真はしんぶん「赤旗」より)

日産追浜工場は、どうなっている?

日産は、2000人全ての派遣を切る事になり、追浜工場でも約400人が対象となっています。これは、従業員3400名の1割強にあたり、工場従業員向けに営業する地元商店街も、売り上げ激減に悲鳴を上げています。

一方、いすゞ自動車藤沢工場では、JMIUいすゞ自動車支部に加盟した勇気ある3名の期間工労働者が、12月9日『解雇予告の効力停止』を求める仮処分を申し立て、いすゞは期間工の首切りを撤回しています。たたかえば展望が開けます。